

新品種候補 (2014年1月作成)

育種事業課題名：てんさい新品種候補「HT34」の概要 (722511)

担当部署：北見農試・研究部・地域技術グループ、十勝農試・研究部・地域技術グループ、
中央農試・作物開発部・作物グループ、上川農試・研究部・地域技術グループ、
北農研センター・畑作研究領域、北海道てん菜協会

キーワード：てんさい、根重、糖量、褐斑病抵抗性、黒根病抵抗性、

1. 特性一覧表

系統名：「HT34」 交配：(HI0128×HI0385) × HI0979

- 特性： 長所 1 根重がやや重く、糖量がやや多い。
2 褐斑病抵抗性が“強”である。
3 黒根病抵抗性が“やや強”である。
4 不純物価が低く品質がやや優れる。

短所 1 根腐病抵抗性が“弱”である。

普及見込面積：平成26年度 1,500ha 平成27年度以降 10,000ha

試験場所	北見農試、十勝農試、北農研センター、北海道てん菜協会		
調査年次	平成22～25年		
品種・系統名	HT34	アマホマレ (標準品種)	リッカ (対照品種)
倍数性	二倍体	三倍体	二倍体
種子の胚数	単胚	単胚	単胚
胚軸の赤色個体	中	多	少
草姿	直立	中間	やや直立
葉長	中	中	やや長
葉数	中	中	やや多
葉形	やや皮針	楕円	やや皮針
葉色	やや濃緑	やや緑	やや濃緑
葉面縮	やや少	少	中
葉身の大きさ	やや小	中	やや小
葉柄長	中	短	やや長
葉柄の太さ	やや太	やや太	中
根形	やや短円錐	やや短円錐	円錐
根重 (t/10a)	8.25 (112)	7.40 (100)	8.04 (109)
根中糖分 (%)	15.31 (95)	16.08 (100)	15.21 (95)
糖量 (kg/10a)	1,262 (106)	1,190 (100)	1,222 (103)
不純物価 (%)	5.36 (105)	5.09 (100)	5.94 (117)
修正糖分 (%)	12.76 (95)	13.50 (100)	12.55 (93)
修正糖量 (kg/10a)	1,064 (107)	991 (100)	1,018 (103)
アミノ態窒素 (meq/100g)	2.45 (106)	2.35 (100)	2.88 (124)
カリウム (meq/100g)	4.03 (98)	4.11 (100)	4.11 (100)
ナトリウム (meq/100g)	0.61 (96)	0.64 (100)	0.71 (111)
抽苔耐性	強	強	強
そう根病抵抗性	強	弱	強
褐斑病抵抗性	強	中	やや強
根腐病抵抗性	弱	弱	やや弱
黒根病抵抗性	やや強	中	中

注1) 形態的特徴は北見農試の直播栽培による成績

- 根重、根中糖分および糖量は、北見農試、十勝農試、北農研センター(平成22,24,25年)および北海道てん菜協会(3カ所)の延べ3カ所平均で、括弧内は「アマホマレ」に対する百分比。
- 不純物価、修正糖分、修正糖量、アミノ態窒素、カリウムおよびナトリウムは、北農研センター(平成22,24,25年)および北海道てん菜協会(3カ所)の延べ3カ所平均。
- 特性検定は抽苔耐性(北見農試、平成24,25年)、そう根病抵抗性(北見農試、平成22～25年)、褐斑病抵抗性(十勝農試、平成22～24年、北見農試、平成25年)、根腐病抵抗性(十勝農試、平成22～25年)、黒根病抵抗性(中央農試、平成22～25年)の成績。

2. 「HT34」の特記すべき特徴

「HT34」は「リッカ」と比較して、根重がやや重く糖量がやや多い。褐斑病抵抗性が“強”で「リッカ」よりやや優る。黒根病抵抗性が“やや強”で「リッカ」よりやや優る。不純物価が低く品質がやや優れる。

3. 優良品種に採用しようとする理由

近年、気象の温暖化のために、てんさいの病害が多発している。

特に、褐斑病は平成22年から24年の3年間に渡って多発し、この間の著しいてんさい低糖分の一因となった。褐斑病は薬剤散布によってある程度防除可能な病害であるが、夏期の高温で罹病の進展が速くなって防除開始が遅れたり、降水量の増加で防除機械が圃場に入れずに防除間隔が長くなったりする場合があるため、抵抗性の向上が切望されている。

黒根病も平成22年に多発し、この年の著しい根重の低下の一因となった。黒根病対策は圃場の透排水性を改善することが基本であるが、抵抗性の効果も高いため、一層の抵抗性の向上が望まれている。

「HT34」は、褐斑病抵抗性が“強”で黒根病抵抗性が“やや強”である。平成20年に優良品種となった「リッカ」は耐病性、収量性ともに優れるため、平成22年以降、北海道でもっとも広く栽培されているが、「HT34」は「リッカ」より褐斑病・黒根病抵抗性が強く、「リッカ」同様そう根病抵抗性も持つため、耐病性で「リッカ」より優れる。また糖量が「リッカ」よりやや多く、収量性も「リッカ」よりやや優れる。

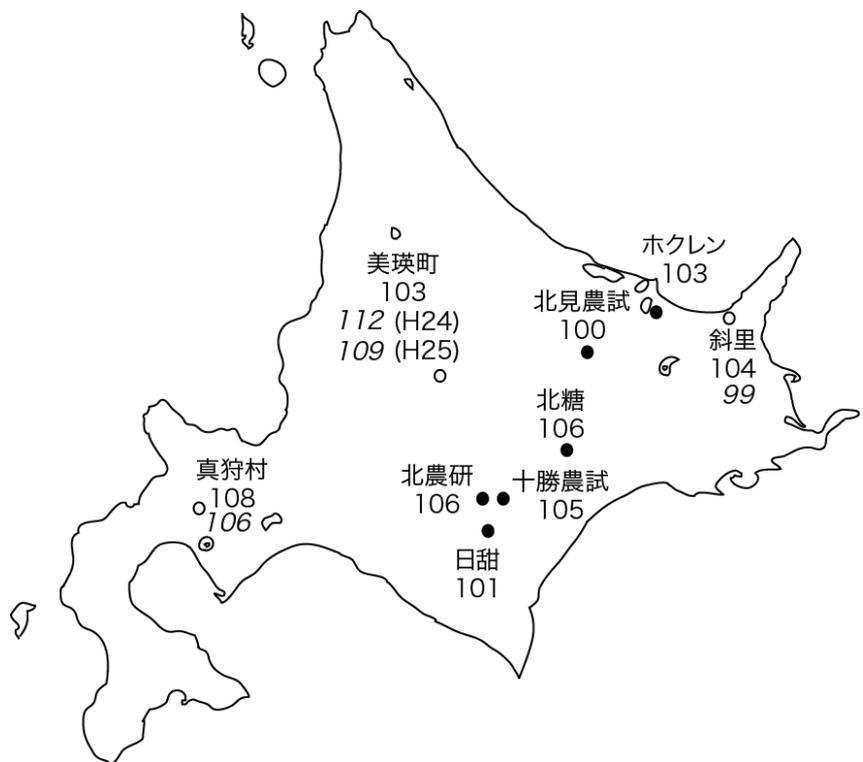
以上のことから、「HT34」を「リッカ」に置き換えて普及させることで、てんさい生産の安定と農家所得向上に寄与できる。

4. 普及見込み地帯

北海道一円

図「HT34」の糖量

- : てん菜輸入品種検定試験、
品種連絡試験成績
(平成22~25年平均、
北農研センターのみ
平成22, 24, 25年平均)
(「リッカ」対比%)
- : 輸入品種現地検定試験成績
(平成24, 25年平均
斜里町のみ平成25年)
(「アマホマレ」対比%、
斜字体は各地区
比較品種対比%)
比較品種は
真狩村:「リッカ」
美瑛町:「かちまる」(H24)
「ゆきまる」(H25)
斜里町:「パピリカ」(H25)



5. 栽培上の注意

- 1) 根腐病抵抗性が“弱”であるため、適切な防除に努める。